

日本サンゴ礁学会第8回大会を2005年11月25日(金)～27日(日)に開催いたします。25～26日は琉球大学の大会館におきまして研究発表会を行い、27日は沖縄本島南部の知念半島におきまして野外観察会(フィールドトリップ)を行います。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

第8回大会実行委員長 藤村弘行

スケジュール

11月25日(金)

10:00 受付開始(大会館)
13:00～20:00 口頭発表(大会館3F)

11月26日(土)

9:00～12:00 ポスター発表(大会館1F)
13:30～16:30 口頭発表(大会館3F)
16:30～17:30 総会
17:30～18:00 名誉会員の表彰、学会賞の授与
18:00～19:00 川口四郎先生記念講演会(入場無料)
19:00～21:30 懇親会・ポスター賞の授与(中央食堂)

11月27日(日)

9:00～16:00 野外観察会(フィールドトリップ)

※ニュースレター26号に記載したスケジュールから変更がありますので、ご確認ください。



会場への交通

●那覇バスターミナルから琉球大学(40～50分)

2番ホームから98番で琉大北口終点下車、徒歩10分
4番ホームから97番で琉大東口下車、徒歩10分
高速バスで琉大入口下車、徒歩15分

●空港から琉球大学(30～40分)

高速バス3番乗り場から113番、123番、5番乗り場から
111番で琉大入口下車、徒歩15分

●空港从那覇バスターミナル(10～15分)

モノレールで旭橋駅下車、徒歩1分
路線バス2番乗り場から13番、124番、125番で、那覇バスターミナル下車

※国際通り周辺にご宿泊の皆様は、国際通り沿いの市外線バス停から98番、97番にご乗車ください。



日本サンゴ礁学会第8回大会 公開野外観察会 (フィールドトリップ)

主催: 日本サンゴ礁学会第8回大会
協力: 知念村教育委員会

「陸になったサンゴ礁: 人・生物・自然の成り立ち」
- 沖縄本島知念半島一帯の隆起サンゴ礁、湧水と史跡を巡る -

●案内役

堀信行(首都大学東京)・河名俊男(琉大)・渡久地健((財)沖縄協会)・
中井達郎(国土館大)・田場由美雄(沖縄県立芸大)

●実施日時

2005年11月27日(日) 9:00～16:00

●観察行程

パレット久茂地(8:10発)→琉大北口(9:00)→斎場御嶽手前→斎場御嶽
→知念城址→(昼食)→垣花樋川→受水走水→港川フィッシャー(港
川人発掘遺跡)→琉大北口(15:50頃)→パレット久茂地(16:30着予定)

●主な観察場所とみどころ

斎場御嶽手前: 地形地質・離水サンゴ礁の観察
斎場御嶽: 信仰・石灰岩生態系・地形地質
知念城址: 信仰・歴史
垣花樋川: 生活・地形地質
受水走水: 信仰・地形地質
港川フィッシャー(港川人発掘遺跡): 人類史・地形地質

●参加費

無料(ただし交通費は実費となる場合があります。今後の案内にご注意下さい)

●集合場所と時間

朝8:00までにパレット久茂地前または8:50までに琉大北口構内の信号付近に集合ください。係の者が看板を持って立っています。

●昼食

昼食はお弁当を各自ご持参ください。大会に参加される方は26日に受付(大会館)でお弁当の注文を承りますので、ご希望の方はお申し込みください。

●公開観察会に関するお問い合わせ先

中野義勝(琉大): yknkssk@lab.u-ryukyu.ac.jp

昼食

25日は25日は中央食堂、北食堂、うりづん(大会館2F)の各食堂または大学生協(中央食堂2F)のお弁当をご利用ください。

26日は中央食堂をご利用ください。

27日の昼食は前日にお弁当の注文を承ります。ご希望の方は前日の26日に受付でお申し込みください。

川口四郎先生

記念講演会のお知らせ

日本サンゴ礁学会第8回大会におきまして、故川口四郎先生の記念講演会を開催いたします。川口四郎先生はサンゴ礁生物学の分野で先駆的な研究を行い、多数の業績をあげられましたが、昨年2004年12月15日にご逝去されました。本大会では、川口先生のサンゴ研究のご業績を記念して、先生のお人柄や世界に先駆けて行われたサンゴ研究についてお話いただきます。

■ 場所: 琉球大学大会館3階ホール ■ 日時: 11月26日(土) 18:00～19:00 (入場無料)

< 講演の内容 >

- 山里 清先生 (前日本サンゴ礁学会会長): 川口先生のエピソード-1-
- 上島孝久先生 (岡山大学名誉教授/現・中国学園大学教授): 川口先生のエピソード-2-
- 日高道雄先生 (琉球大学): 川口先生のサンゴ研究
- 小西健二先生 (金沢大学/日本サンゴ礁学会会長): お礼の言葉・感謝状の贈呈

また、学会期間中は川口四郎先生のご活躍当時の写真などを会場の一面に展示いたします。そちらもあわせてご覧ください。

大会 PROGRAM プログラム

口頭発表

11月25日(金)				
座長: 諏訪 僚太(琉球大学大学院理工学研究科)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
1-1	13:00	太陽光をより得られる方向へ群体の骨格を成長させるリュウキュウウツカサンゴ	○岩瀬晃啓(琉球大・理工・海洋環境)・Yimnang Golbuu(Palau International Coral Reef Center)・酒井一彦(琉球大・熱帯生物圏研究センター)・Robert van Woesik(Department of Biological Sciences, Florida Institute of Technology)	
1-2	13:15	塊状ハマサンゴ類は病気のデパートか?	○山城秀之(名桜大)	
1-3	13:30	Relationship Between Seasonal Fractuations of Zooxanthellae Abundance and Pigment Concentration in Two Coral Species, <i>Acropora hyacinthus</i> and <i>Stylophora pistillata</i>	○KESHAVMURTHY Shashank and KIMIO Fukami (Graduate School of Kuroshio Science)	
座長: 深見 裕伸(京都大学瀬戸臨海実験所)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
1-4	13:45	Fish and crustaceans associated with cnidarians: why are they not stung by the host?	○Michael Arvedlund (TBRC, Sesoko station, Univ. of the Ryukyus)	
1-5	14:00	オニヒトデ集団解析にむけての多型分子マーカーの開発とその特徴	○安田仁奈(東工大)・長井敏・浜口昌巳(瀬戸内水研)・練春蘭(東大アジアセ)・瀬岡和夫(東工大)	
座長: 棚原 朗(琉球大学機器分析センター)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
1-6	14:30	石垣島宮良川河口域堆積物中のカドミウム濃度について	○阿部和雄(西海区水産研究所石垣支所)	
1-7	14:45	沖縄島南部沿岸環境に及ぼす富栄養地下水の影響(予報)	○中西康博(東京農大)・高平兼司・平良栄彦(沖縄県公衆衛生協会)・奥田夏樹(名桜大学)	
1-8	15:00	サンゴ-褐虫藻による硝酸態窒素の利用	○田中泰章・宮島利宏・小池勲夫(東大海洋研)・林原毅(西海区水研石垣)・小川浩史(東大海洋研)	
1-9	15:15	Benthic primary production and N ₂ fixation in fringing coral reefs	○CASARETO, B. E. (LASC, Shizuoka Univ.)・Suzuki, Y. (Shizuoka Univ.)・Charpy, L. (IRD)・Kurosawa, K. (LASC)・Ishikawa, Y. (Institute of Environmental Science)	
1-10	15:30	Linkage between organic flow and microecosystem in coral reef	○Yoshimi SUZUKI (Shizuoka Univ.)・Beatriz CASARETO (Shizuoka Univ., LASC)・Loic Charpy・Jean BLANCHOLT (IRD)・Yoshio ISHIKAWA (Shizuoka Univ.)・Hiroyuki FUJIMURA (Ryukyuu Univ.)・Takuji Ito (Mitsubishi Corporation)	
座長: 大森 保(琉球大学理学部海洋自然科学科)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
1-11	16:00	水中生物生産呼吸測定装置によるサンゴ礁生物群集の生産速度の推定法	○立田穰(電中研環境研)・向江奈穂・若林真千子(東京医薬)・岩尾研二(AMSL)	
1-12	16:15	石西礁湖自然再生計画のための海水流動および熱・物質輸送数値シミュレーション	田村仁(地球環境フロンティア研究センター)・○瀬岡和夫(東工大・院・情報理工)・鈴木庸吉(JR東日本)・宮澤泰正(地球環境フロンティア研究センター)	
1-13	16:30	超分解能フォーキャストマルチビーム測深システムで得られた海底地形図とサンゴ分布の比較	○古島靖夫・山本啓之・丸山正(独)海洋研究開発機構)・山村祐仁・今永俊一・大八木敏夫・半谷和祐((株)東陽テクニカ)	
座長: 広瀬慎美子(琉球大学大学院理工学研究科)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
1-14	16:45	強光によるサンゴ幼生の着生阻害について	○鈴木豪(京大院・農)・林原毅・加藤雅也・玉城泉也・伏屋玲子(西水研・石垣)・林勇夫(京大院・農)	
1-15	17:00	ミドリイシ幼生は変態時、変態阻害物質を分泌する	○矢島麻美子・片桐優子・服田昌之(お茶大・沿岸セ)	
1-16	17:15	大型飼育水槽の中でのブラナラ幼生の生残率と鉛直分布の変化	大森 信(阿嘉島臨海研究所)・柴田早苗((株)テトラ)・横川雅恵(日本大学生物資源科学部)・青田 徹((株)テトラ)・○岩尾研二(阿嘉島臨海研究所)	
座長: 岩尾 研二(阿嘉島臨海研究所)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
1-17	17:45	伸縮性素材を用いたサンゴ移植片の固定法	○西平守孝(名桜大学総合研究所)	
1-18	18:00	移植した造礁サンゴ <i>Acropora formosa</i> の繁殖生態	○大久保奈弥(東京工業大学生命理工学研究科分子生命情報専攻)・大森 信(阿嘉島臨海研究所)・本川達雄(東京工業大学生命理工学研究科生体システム専攻)	
1-19	18:15	石垣港における移植サンゴの成長について	竹田 哲・○前川 進(沖縄総合事務局 開発建設部)・土井 博・山口 誠・前里 尚(沖縄総合事務局 石垣港湾事務所)・藤原秀一(国土環境(株))	
1-20	18:30	那覇西道路建設に伴うソフトコーラルの移植	石渡一義・目取真正樹(沖縄総合事務局)・下地博明・与那嶺和史・川田文彦(沖縄総合事務局 南部国道事務所)・松川剛(沖縄総合事務局)・○山城篤・大城哲・伊藤馨司(株式会社沖縄環境分析センター)	
座長: 中井 達郎(国士館大学)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
1-21	19:00	サンゴ元気でみんな元気 -環境問題をより身近な健康問題へ-	○鈴木泰英((株)シーズ 環境教育事業部)	
1-22	19:15	泡瀬干潟の環境特性と保護活動	○目崎茂和(南山大学)・開発法子(日本自然保護協会)・泡瀬干潟自然環境調査委員会	
1-23	19:30	慶良間諸島海域におけるサンゴ礁保全交渉に関する一考察	○藤澤宜広(沖縄大学法経学部)	
1-24	19:45	インドネシアにおける沿岸資源管理の課題と対策	○鹿熊信一郎(亜熱帯総合研究所)	
11月26日(土)				
座長: 西平 守孝(名桜大学総合研究所)				
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名	
2-1	13:30	造礁サンゴの形態とL関数	○中森亨・中村隆志・栗原 正臣(東北大学大学院理学研究科)	
2-2	13:45	瀬底島周辺におけるサンゴ被度の変遷: 25年を振り返る	○酒井 一彦(琉球大学・熱帯生物圏研究センター)・向 草世香(九州大学・理・数理生物)	
2-3	14:00	沖縄におけるサンゴモ食期オニヒトデの分布および経年変化	○小笠原敬・長田智史・小澤宏之(沖環科)・鹿熊信一郎(亜熱研)・横地洋之(東海大)	

座長:中野 義勝(琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底実験所)			
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名
2-4	14:15	石西礁湖「シモビシ」海中公園のサンゴ礁と海藻	○大葉英雄(海洋大・科学部)・木村匡・下池和幸(自然研)・鈴木淳・長尾正之(産総研)・鳥取海峰(岡山大・地理)・岩瀬晃啓・森本直子(琉大・熱帯セ)・澁野拓郎・高田宜武(西海区水研・石垣)
2-5	14:30	サンゴが生産・分泌する有機物の微生物群集に対する増殖基質としての役割	○深見公雄・的場洋右・Keshavmurthy Shashank・岩瀬文人(高知大院黒潮圏)
2-6	14:45	海藻藻場の拡大とサンゴ場の縮小は何を意味するのか? -与論島北東部礁池での環境変化-	○中井達郎(国士館大)

座長:中森 亨(東北大学大学院理学研究科)			
講演番号	講演時間	タイトル	発表者氏名
2-7	15:00	宮古列島から採取したビーチロック試料の放射性炭素年代と安定同位体比	○小元久仁夫(日本大学)
2-8	15:15	アングマン諸島における2004年地震に伴うサンゴ礁の離水	○茅根 創・池田安隆・越後智雄(東京大・理)・穴倉正展・鎌滝孝信(産総研・活断層研究センター)
2-9	15:30	琉球列島中南部における津波と台風の高波による海食崖の剥離と石灰質岩塊の移動-1771年明和津波, 1832年台風, および1951年ルース台風を例にして-	○河名俊男(琉球大学)・正木 譲(元石垣島地方気象台)・宮城邦昌(南大東島地方気象台)・島袋永夫(沖縄プランニング)・島袋綾野(石垣市市史編集課)・伊達 望(別府市南立石1区1-8)・神山 英(石垣市立平真小学校)・比嘉 淳(琉球大学・院)
2-10	15:45	北琉球・馬毛島における北限域サンゴ礁の形成過程	○菅 浩伸(岡山大)・中島洋典(有明高専)・大橋倫也・濱中 望・岡本健裕(岡山大・院)・中井達郎(国士館大)・堀 信行(首都大学東京)
2-11	16:00	環礁州島の地形発達と集落の成立	○近森 正(慶応義塾大学・帝京平成大学)

ポスター発表

11月26日(土) 9:00~12:00			
講演番号	タイトル	発表者氏名	
P-1	キクメイシサンゴ類の交雑と分類に関する研究	○深見裕伸(京都大学瀬戸臨海実験所)	
P-2	マメスナギンチャクの種間における形態学的及び遺伝学的比較	○岩間敦(鹿児島大・院・生命機能)・小野修介(都城東高)・James D Reimer(JAMSTEC)・塚原潤三(鹿児島大・理・生命化学)	
P-3	アザミサンゴの2タイプ及び交雑の可能性について	○安部真理子・萩原隼人(琉球大学・理工学研究科・海洋環境学専攻)・早川英毅・渡辺俊樹(東京大学・海洋研究所・海洋生命科学部門)・日高道雄(琉球大学・理学部・海洋自然)	
P-4	アザミサンゴにおけるマイクロサテライトマーカーの開発	○鈴木悠太・武島弘彦(東京大学海洋研究所)・西川昭・酒井一彦(琉球大・熱生研・瀬底実験所)・西田睦・渡辺俊樹(東京大学海洋研究所)	
P-5	サンゴと褐虫藻の共生に関する遺伝子の解析	○湯山育子・宇都宮嘉宏(東大海洋研)・丸山正(海洋研究開発機構)・渡辺俊樹(東大海洋研)	
P-6	褐虫藻とイシサンゴ由来cDNAの判別法の検討	○紀井晋一・田中次郎(東京海洋大)・丸山 正(海洋研究開発機構)・湯山育子・早川英毅・渡辺俊樹(東大海洋研)	
P-7	ミドリイシの受精の分子機構に関する研究(予報)	○井口亮・David Miller (Comparative Genomics Centre, James Cook University)	
P-8	造礁サンゴ <i>Porites Compressa</i> の過形成組織特異的タンパク質の検出	○中山亜紀(京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻)・Cheryl Woodley・Mats Lundqvist(DOC/NOAA/NOS/NCCOS, Center for Coastal Environmental Health and Biomolecular Research, Hollings Marine Laboratory)	
P-9	造礁サンゴのピテロジェニン:卵タンパク質の前駆体構造	○早川英毅(東京大学 海洋研究所)・安藤 忠(水産総合研究センター 北海道区水産研究所)・中野義勝(琉球大学 熱帯生物圏研究センター 瀬底実験所)・渡辺俊樹(東京大学 海洋研究所)	
P-10	<i>Acropora tenuis</i> と <i>Acropora digitifera</i> の発生	○大久保奈弥(東京工業大学生命理工学研究科分子生命情報専攻)・山上晋(東京工業大学生命理工学研究科生体システム専攻)・本川達雄(東京工業大学生命理工学研究科生体システム専攻)	
P-11	ミドリイシ属サンゴ幼生の変態と褐虫藻獲得過程の形態学的観察	○広瀬慎美子(琉大・理工・21世紀COE)・山本広美・野中正法(沖縄美ら海水族館)	
P-12	サンゴの幼生の定着に関わる機能形態学的検討	○中野義勝(琉球大学)・原政子・渡辺俊樹(東京大学)・浪崎直子(琉球大学)	
P-13	異なる褐虫藻株が稚サンゴの成長に及ぼす影響の比較	○宇都宮嘉宏・湯山育子・渡辺俊樹(東大海洋研)・丸山正(海洋研究開発機構)	
P-14	様々な褐虫藻を感染させたトゲスギミドリイシ一次ポリブの成長と生存率	○樋口陽子(琉球大学理学部海洋自然科学)・山本広美・野中正法(沖縄美ら海水族館)・日高道雄(琉球大学理学部海洋自然科学)	
P-15	ニオウミドリイシのプラヌラ幼生による褐虫藻獲得の選択性	○面川雄一郎(琉大・理工・海洋自然)・広瀬慎美子(琉大・理工・COE)・日高道雄(琉大・理・海洋自然)	
P-16	Preliminary study on the bleaching mechanisms using coral cell aggregates	○Badrun Nesa・Michio Hidaka (Department of Chemistry, Biology and Marine Science, University of the Ryukyus)	
P-17	サンゴ骨格内に生息する微細藻類がホストサンゴの光合成に与える影響	○山崎征太郎(琉球大学理学部)・中村 崇(琉球大学遺伝子実験センター)・山崎 秀雄(琉球大学理学部)	
P-18	光強度の揺らぎがコユビミドリイシにおける光合成に及ぼす影響	○中村 崇(琉球大学遺伝子実験センター)・山崎 秀雄(琉球大学理学部)	
P-19	<i>Pavona</i> 属サンゴ2種の褐虫藻遺伝子型と生理学的性質の季節変動	○諏訪僚太(琉球大・理工・海洋環境)・廣瀬慎美子(琉球大・理工・COE)・日高道雄(琉球大・理・海洋自然)	
P-20	石垣島浦底湾におけるサンゴ光合成収支の季節変動	○阿部 寧・高田宜武・澁野拓郎・橋本和正(西海区水産研究所)	
P-21	ハナバチミドリイシに見られる腫瘍状構造の病理学的特性	○入川暁之(琉球大学大学院理工学研究科)・日高道雄(琉球大学理学部海洋自然科学科)	
P-22	沖縄産の塊状ハマサンゴ類の腫瘍の類型化	○安田直子(琉球大学理工学部海洋自然科学科)・中野義勝(琉球大学熱帯生物圏研究センター 瀬底実験所)・山城秀之(名桜大学国際学部観光産業学科)・日高道雄(琉球大学理学部海洋自然科学科)	
P-23	沖縄本島瀬底島周辺に生息するハマサンゴ <i>Porites australiensis</i> の繁殖生態	○浪崎直子(琉大院・理工)・Andrew.J.Heyward(AIMS)・酒井一彦(琉大熱帯生物圏研究センター)	
P-24	高知県大月町西泊におけるサンゴの産卵について	○目崎拓真・岩瀬文人・中地シュウ・林徹(黒潮生物研究所)	
P-25	石垣島白保におけるアオサンゴの幼生放出, 加入, 群集形成	○茅根 創(東京大・理)・波利井佐紀(クインズランド大)	
P-26	Larval dispersal tendency of spawning acroporid corals	○Yoko Nozawa (Yokatsu High-school)・Peter Harrison (Southern Cross University)	
P-27	四国南海域における造礁サンゴの分布と幼生加入	○別所学(東海大学)・横地洋之(東海大学海洋研究所)・岩瀬文人(黒潮生物研究所)	
P-28	沖縄本島サンゴ礁域におけるミドリイシ類サンゴの復元過程の差 -一定着後初期サンゴの野外での生存率-	○部奈 千晶(琉球大学・理工学研究科)・山本 広美・野中 正法(沖縄美ら海水族館(財)海洋博覧会記念公園管理財団・魚類課)	
P-29	沖縄海岸海中公園地区内のサンゴ群集と水中景観	○西平守孝(名桜大学総合研究所)	
P-30	石西礁湖及び周辺域への稚サンゴの加入状況	○野島 哲(九大・理院・臨海)・岡本峰雄(東京海洋大)・上野光弘・下池和幸・木村 匡(自然環境研究センター)	
P-31	2005年における石西礁湖の台風被害及び白化状況	○野島 哲(九大・理院・臨海)・岡本峰雄(東京海洋大)・上野光弘(自然環境研究センター)	
P-32	沖縄島周辺海域におけるトゲサンゴ (<i>Seriatopora hystrix</i>) の分布	○長田智史・小笠原敬・山川英治(沖環科)・上野大輔(広島大学生物圏科学研究科)・小澤宏之(沖環科)・酒井一彦(琉球大学熱帯生物圏研究センター)	
P-33	海洋博公園地区先における造礁サンゴ群集の遷移	○野中正法・山本広美(沖縄美ら海水族館)	
P-34	桜島大正溶岩湖下帯に生息する刺胞動物群集への高海水温度の影響	○小野修助(都城東高専)・James Davis Reimer(JAMSTEC)・塚原潤三(鹿児島大理学部)	
P-35	オニヒトデに対する薬剤駆除報告	○横井謙典(NPO法人沖縄県ダイビング安全対策協議会)・小菅恵雄・小菅陽子(株)アイシードル)	

P-36	ミドリイシ幼若体を用いた海洋汚染物質の影響評価	○渡辺俊樹・早川英毅・湯山育子・鈴木悠太・宇都宮嘉宏(東大海洋研)・紀井晋一(東京海洋大)・安村茂樹(WWFジャパン)
P-37	駿河湾のエダミドリイシ群集に対するガンガゼの食害防止フェンスの効果	○岸本太郎(東海大・海洋・院)・榎田泰之(木曾興業(株))・松永育之(株)東海アクアノーツ)・上野信平(東海大・海洋)
P-38	小型TVカメラロボット (ROV) による琉球列島サンゴ礁の調査と映像データベースの構築	○宮城 博・砂川貴之・岸良武文・比嘉リカ (株式会社マリン・ワーク・ジャパン)・古島靖夫・山本啓之・園田 朗・小松徹史・設案文朗(独立行政法人海洋開発研究機構)
P-39	駿河湾の衰退したエダミドリイシ群集へのマガキガイの加入	○中島 匠(東海大・海洋・院)・上野信平(東海大・海洋)
P-40	西表島浦内川河口マングローブにおけるキバウミナナの分布と環境	○福岡雅史(東海大・海洋・院)・上野信平(東海大・海洋)・河野裕美(東海大沖縄地域研究センター)
P-41	ハブクラゲ被害発生状況の海域特性に関する研究 第一報 疫学情報から見た海域特性	○大見謝辰男 (沖縄県衛生環境研究所・衛生動物室)
P-42	泡瀬干潟のサンゴ礁環境マップの作成	○長谷川均・後藤智哉(国士館大学)・目崎茂和(南山大学)・泡瀬干潟自然環境調査委員会・(財)日本自然保護協会
P-43	定点カメラを用いたサンゴ成長過程の長期間モニタリング	○戸田真志(公立ほこだて未来大学)・秋田純一(金沢大学)・中野義勝(琉球大学)・森山徹・木村健一(公立ほこだて未来大学)
P-44	港湾におけるサンゴの健康診断調査と技術開発調査手法	○竹田 哲・前川 進・比嘉静秀・鈴木真也(沖縄総合事務局・開発建設部)・高橋由浩・長倉敏郎(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター)・岩村俊平(株式会社 エコー)
P-45	リーフチェックの結果から見た紀伊半島のサンゴ群集のダメージ	○土川 仁・池田 慎也・富弥 充・高木 裕(コーラル・ネットワーク)
P-46	野外大型型囲水槽を用いた造礁サンゴ配偶子の確保	○岩尾研二(阿嘉島臨海研究所)・綿貫 啓(前(株)テトラ、現(株)アルファ水コンサルタンツ)・青田 徹(株)テトラ)・谷口洋基・田村 實・大森 信(阿嘉島臨海研究所)
P-47	無節サンゴモの着生促進による造礁サンゴの着生技術に関する現地試験	○山本克則(鹿島建設)・渡邊晋也・迫田恵三・上野信平(東海大・海洋学部)
P-48	サンゴ幼生の中間育成水槽内での基盤への着生実験	○柴田早苗・青田 徹(株式会社テトラ)・綿貫 啓(前(株)テトラ、現(株)アルファ水コンサルタンツ)・岩尾研二・田村 實・大森 信 (阿嘉島臨海研究所)
P-49	チロシンキナーゼ阻害剤によるサンゴ幼生の着生・変態阻害	○谷口洋基(阿嘉島臨海研究所)
P-50	垂下式筏によるミドリイシ属サンゴの中間育成について	○林 徹・岩瀬文人(財団法人黒潮生物研究財団黒潮生物研究所)
P-51	サンゴ礁の早期回復に向けた取り組み	○長田紀見・白田暁太・三好朗弘・ロノ町誠・青田 徹・柴田早苗(株式会社テトラ)
P-52	有性生殖を利用した造礁サンゴ群集の大規模修復技術の開発 4. 2005年の幼生放流野外実験の結果とその後の経過	○林原 毅(西水研・石垣)・鈴木 豪(京大院・農)・玉城泉也・伏屋玲子・加藤雅也(西水研・石垣)
P-53	陸上サンゴ養殖への新たな取り組み- (株) Aqua Culture Okinawaの紹介	○佐藤崇範・平良栄康(株)Aqua Culture Okinawa)
P-54	「研究」の現場と「教育」の現場を連結する仕組み作り -NPO 海の自然史研究所 Marine Learning Center の設立と活動の展望	○藤田喜久・今宮則子・伊勢戸 徹・平井和也・中野義勝(NPO 海の自然史研究所)
P-55	宮古島の湧水に生息する甲殻類相とその保全～地下水環境、生物、そして人との繋がり～	○藤田喜久(琉大・非常勤講師/NPO海の自然史研究所)・池田広志(琉大・院・理工)・翁長 均(琉大・院・理工)・伊藤 茜(琉大・医)・川原 剛(株)九州メディカル)・諸喜田茂充(放送大学)
P-56	パラオ国際サンゴ礁センターのサンゴ礁保全における役割と課題	○行平英基(パラオ国際サンゴ礁センター)
P-57	三重県東紀州のサンゴ生息海域における水質	○岩崎誠二(三重大学生物資源学研究所)
P-58	サンゴ骨格の酸素・炭素同位体比の成長速度依存性について	○鈴木 淳(産業技術総合研究所)・小俣珠乃(海洋研究開発機構)・川橋穂高(東京大学海洋研究所/産業技術総合研究所)・日比野浩平(自然環境研究センター)・岩瀬晃啓(琉球大学大学院)
P-59	サンゴ年輪の酸素同位体比と蛍光分析の比較	○中村修子・茅根 創・飯嶋寛子・山形俊男(京大・理・地球惑星科学)
P-60	可視・近赤外線によるサンゴの活性モニタリング手法の開発	○斉藤 宏・岸野元彰・石丸隆(東京海洋大・海洋科学)・灘岡和夫(東工大・大学院情報理工学研究所)
P-61	衛星リモートセンシングによる奄美大島のサンゴ礁底質マッピング	○宇野裕司(広大)・山野博哉・松永恒雄(国環研)
P-62	Large-Scale Habitat Classification of Palauan Reefs-Use of Textural Methods in Conjunction with Spectral Analysis to Improve Reef Classification.	○D. Idip・H. Kayanne (University of Tokyo)・H. Yamano (Institut de Recherche pour le Developpement)・T. Matsunaga・H. Shimazaki (National Institute for Environmental Studies)
P-63	GPSを取り付けた2連気球によるサンゴ礁海草藻場の撮影	○加藤健・大谷謙仁・根岸明・野崎健・山室真澄(産業技術総合研究所)・宮本孝之(長菱設計(株))
P-64	サンゴ礁海域の炭酸ガス分圧測定装置の校正方法	○飯村葉子・加藤 健・根岸 明・野崎 健・天野雅継・嘉藤 徹(産総研)・渡邊 敦(名大)・茅根 創(東大)
P-65	サンゴ礁形成の地球化学的モデル	○中村隆志・中森亨(東北大学大学院理学研究科地学専攻)
P-66	過酸化水素によるサンゴ代謝量への影響	○樋口富彦・藤村弘行・伊古田博嗣(琉球大・理工)・新垣雄光・大森保(琉球大・理)
P-67	大型有孔虫-微細藻共生系の有機・無機炭素生産量の測定	○藤田和彦(琉球大・理・物質地球科学)・藤村弘行(琉球大・理工・COE)
P-68	低温・常圧下における炭酸塩溶解実験	○山本将史・茅根創(京大・院・理・地球惑星科学)・野崎健・根岸明・加藤健・(産業総合研究所)・渡邊敦(名古屋大・院・環境学)
P-69	生物地球化学的手法により算出した石垣島伊原間サンゴ礁の炭酸カルシウム生産変動	○本郷由軌・茅根 創・齋藤智慧(東京大学大学院・理学系研究科・地球惑星科学専攻)・井手陽一(海洋プランニング株式会社)
P-70	マジュロ環礁ローラ島に見られるサンゴ礁州島堆積相	○安河内貫・茅根創(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)・山口徹(慶應義塾大学文学部民族考古学研究室)・山野博哉(国立環境研究所、UR 128 CoReUs, Institut de Recherche pour le Developpement)
P-71	那覇市の沿岸海域および国場川、安里川流域の堆積物 -その起源と人為的影響-	○与那覇寛・藤田和彦(琉球大・理・物質地球科学)
P-72	漫湖底質の堆積速度と重金属等の経年変化	○棚原 朗(琉球大学機器分析センター)・黒澤健太郎・池田隆志(琉球大学理学部)・金城 嘉哉(株式会社イー・エー・シー)
P-73	石垣島轟川流域における赤土流出特性に関する長期連続観測解析	○山本高大・灘岡和夫・Enrico Paringit(東工大)
P-74	石垣島 白保と宮良における群集代謝の比較	○齋藤智慧・茅根 創(京大・院・理学系・地球惑星科学)・岩出卓也(京大・理・地学)・渡邊 敦(名古屋大・院・環境学)・所 立樹(京大・院・理学系・地球惑星科学)・灘岡和夫(東京工業大・院・情報理工学・情報環境学)
P-75	沖縄県瀬底島サンゴ礁域における群集代謝量のモデル解析	○桑野多恵子(琉球大・院理工)・藤村弘行(琉球大・理工・COE)・中野義勝(琉球大・熱生研・瀬底)・大森保(琉球大・理・海洋自然)
P-76	レユニオン島及び沖縄におけるサンゴ礁の光合成活性について	○石川義朗・塩井祐三(静岡大学)・藤村弘行(琉球大学)・ベアトリス.E.カサレト(水圏科学コンサルタント)・鈴木款(静岡大学)・伊藤卓司(三菱商事(株)・社会・環境室)
P-77	レユニオン島サンゴ礁群集代謝量のボックスモデルによる見積り	○藤村弘行・桑野多恵子(琉球大・院・理工)・大森 保(琉球大・理)・石川義朗(静岡大)・B. E. Casareto(Shizuoka Univ. / LASC)・鈴木 款(静岡大)・J. Blanchot・L.Charyp(IRD)

発表について

- 口頭発表の講演時間は質疑応答を含めて一人15分です。11分で1鈴、13分で2鈴、15分で3鈴を鳴らします。
- 発表機材は液晶プロジェクターとOHPを用意いたします。液晶プロジェクターによる講演ではWindows XP (PowerPoint 2003)とMacOS X (PowerPoint 2004、Keynote2)のコンピュー

ターを用意します。ファイルの受付とプレビューは11/25の午前中と11/26日の午前中に受付で行います。受付可能なメディアはCD-RまたはUSBメモリーです。ファイル名は講演番号(半角数字:プログラム参照)に続けて講演者の姓としてください。個人のコンピューターも使用できますが、不測の事態に備えてOHPシートもご用意ください。

- ポスター発表はパネルの大きさが約180cm(縦)×90cm(横)です。この範囲に収まるように各自ご自

由にポスターの大きさを設定ください。発表会場は大学会館1Fです。ポスターは26日の9:00までに各自の講演番号が表示されているパネルに張り(前日の午後から張り出せるようにします)、12:00まで掲示してください(画紙・セロテープ等はこちらで用意します)。講演時間は最低1時間とし、各自で発表する時間帯を設定してください(講演時間を表示する用紙を用意いたします)。